



# すべての子供に居場所がある学校を作りたい。

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる子も、自分の気持ちをうまくコントロールできない子も、みんな同じ教室で学びます。ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子も、つい友達に暴力をふるってしまう子も、みんなで見守ります。あるとき、「あの子が行くなら大空には行きたくない」と噂される子が入学しました。「じゃあ、そんな子はどこへ行くの？ そんな子が安心して来られるのが地域の学校のはず」と木村泰子校長。やがて彼は、この学び舎で居場所を見つけ、春には卒業式を迎えます。いまでは、他の学校へ通えなくなった子が次々と大空小学校に転校して来るようになりました。



## 学校が変われば、地域が変わる。 そして、社会が変わっていく。

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるよう育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よここび……。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？ 大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか。

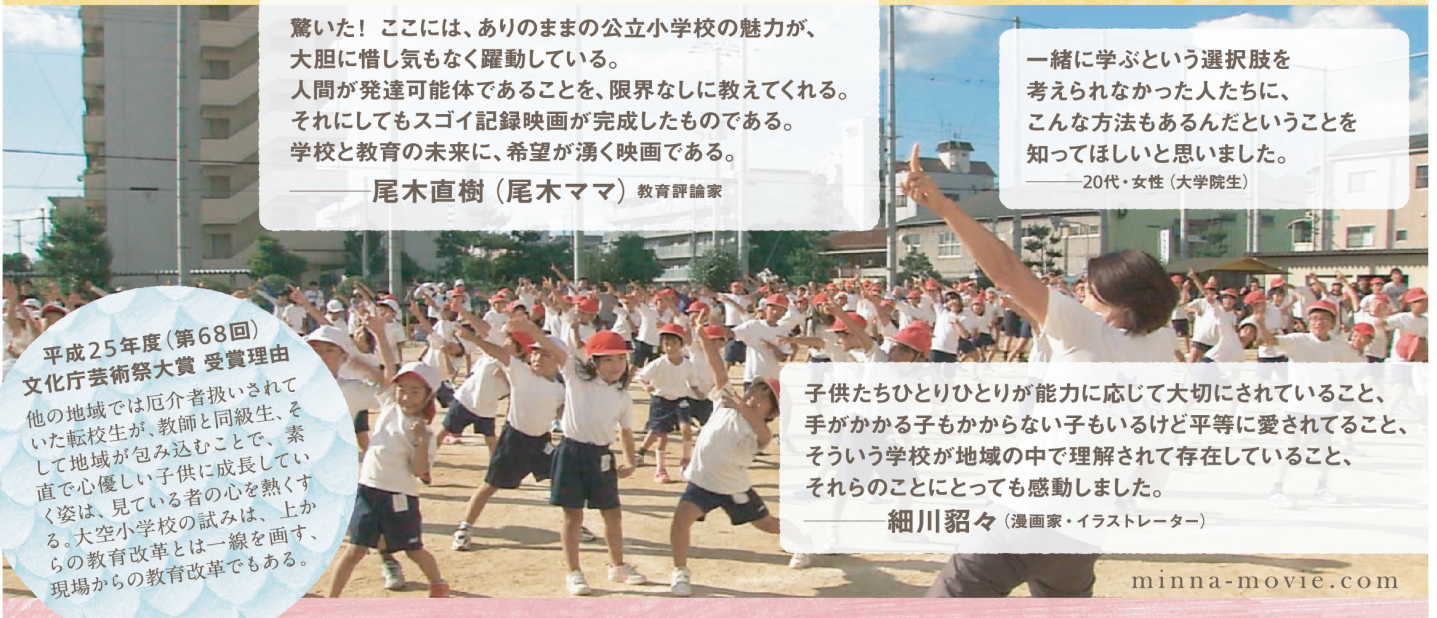


驚いた！ ここには、ありのままの公立小学校の魅力が、大胆に惜し気もなく躍動している。人間が発達可能体であることを、限界なしに教えてくれる。それにしてもスゴイ記録映画が完成したものである。学校と教育の未来に、希望が湧く映画である。

——尾木直樹（尾木ママ）教育評論家

一緒に学ぶという選択肢を考えられなかった人たちに、こんな方法もあるんだということを知ってほしいと思いました。

——20代・女性（大学院生）



子供たちひとりひとりが能力に応じて大切にされていること、手がかかる子もかからない子もいるけど平等に愛されていること、そういう学校が地域の中で理解されて存在していること、それらのことにとっても感動しました。

——細川貂々（漫画家・イラストレーター）

minna-movie.com

社会福祉法人つといの家・つといの家後援会共催

ドキュメンタリー映画 **みんなの学校** 上映会

2023年 **11月17日**（金）宮城野区文化センター  
パトナシアター  
仙台市宮城野区五輪2-12-70

お問い合わせ先：**八木山つといの家**  
**022-229-0666**（担当：高杉）

■上映時間：①11時00分 ②14時30分 ③18時30分（開場は各回上映の30分前になります）

■チケット：前売り券1,000円 当日券1,200円

■申し込み：【ネット予約】 <https://forms.gle/cyUHumGSWRNz5Bo87> (Google フォーム)  
【電話予約】 社会福祉法人つといの家 八木山つといの家

電話：022-229-0666（担当：高杉）  
※法人の各施設でも販売しております。

■後援：仙台市 河北新報社 朝日新聞社仙台総局 毎日新聞仙台支局  
（社福）仙台市社会福祉協議会 （社福）宮城県社会福祉協議会  
ミヤギテレビ tbc東北放送 khb東日本放送

社会福祉法人つといの家は「どんなに重いしょうがいのある人も、地域社会で差別されることなく、いきいきと自立した地域生活ができるよう自己実現の場を保障し支援すること」を基本理念として、社会福祉事業を展開しております。



※コロナ感染症拡大防止について：風邪症状や発熱等の症状がある方は参加をお控えください。また、感染に対してリスクが高い方への配慮のため会場内ではマスクの着用、手指消毒等へのご協力をお願いいたします。